

付属資料1 各種会議等の開催概要

1. 塩竈市公共施設再配置計画審議会
2. 町内会説明会
3. 施設利用団体への説明会
4. 施設利用団体による意見交換会
5. 高校生との意見交換会
6. パブリックコメントの実施
7. 塩竈市公共施設等総合管理計画等策定委員会
8. 施設担当者説明会

1 塩竈市公共施設再配置計画審議会

■委員

No	選定分野	氏名	所属
1	学識経験者	柳井 雅也	東北学院大学教養学部 地域構想学科 教授
2		佐々木 秀之	宮城大学 事業構想学群 准教授
3	教育	弓田 宣弘	塩竈市立玉川小学校 校長
4	建築設計	横山 英子	(株)横山芳夫建築設計監理事務所 会長
5	産業	桑原 茂	塩釜商工会議所 会頭
6		佐浦 弘一	(株)佐浦 代表取締役社長
7		丹野 光明	三陸運輸(株) 代表取締役社長
8		吉富 毅	極洋食品(株) 代表取締役社長
9	財務	漆原 克典	七十七銀行塩釜支店 支店長
10		千葉 和彦	千葉和彦税理士事務所 所長
11	福祉	今野 吉晃	前塩釜市社会福祉協議会 常務理事
12	文化・芸術	高田 彩	ビルド・フルーガス 代表

■開催経緯

回数	開催日時	主な審議内容
第1回	平成30年8月7日(火) 18:30～20:20	・公共施設再配置計画(素案)の概要について ・今後のスケジュールについて
第2回	平成30年11月1日(木) 18:30～20:30	・各種会議の意見反映について ①第1回有識者審議会の主な意見と対応 ②町内会説明会の開催結果 ③施設利用団体への説明会の開催結果 ④施設利用団体による意見交換会の開催結果 ・再配置の推進に向けての取組と進め方(見直し骨子案) ・今後のスケジュールについて
第3回	平成30年11月30日(木) 18:30～20:30	・各種会議の意見の反映について ・『塩竈市公共施設再配置計画』修正案について ・今後のスケジュールについて
第4回	平成31年1月29日(火) 17:00～18:45	・『塩竈市公共施設再配置計画』再修正案について ・今後のスケジュールについて
第5回 (答申)	平成31年2月4日(月) 10:00～10:30	・『塩竈市公共施設再配置計画』について ・市長と委員長及び副委員長との意見交換 ・今後のスケジュールについて

■議事概要

（１）第１回有識者審議会

- 少子高齢化による人口減少が進行しているという状況を考慮して、施設を集約してコンパクト化するという方向性で計画を進める必要がある。
- 施設のあり方を検討する上で地域の環境との接点を見出すことで有効活用できるという視点を持つ必要がある。
- 施設の役割を重視して、複合的に利用することを検討する必要がある。
- 活性化やまちづくりという面を考慮する必要がある。
- 築年数以外にも、施設の利用のされ方ということも考慮するべきである。
- 空いた土地を池袋南公園のように整備して開放する等、まちの魅力を高めるという方向性が大切である。
- 代々住んできた方や移住してきた方の意見が重要である。
- 民間企業と同様に、市の財政計画に見合った計画とすべきである。
- PFI や PPP 等の民間活力を取り入れるとよい。
- 食育という観点では学校施設は分散させておいた方が、地産地消という概念が育つ。塩竈市は宮城県の食を守る場として、非常に重要なまちである。
- 全体的に自助、共助含めて、防災面を考慮するべきである。
- 産業は集約、教育・福祉は分散ということをキーワードとして、進めた方が良い。
- 学校施設は、一部解体等による施設総量の削減は難しい。また、削減を行うにしても、教育が適切に行われるだけのハードの高機能化についても検討してほしい。



（２）第２回有識者審議会

- 学校の統廃合について、文科省からは学校数だけでなく、教育現場や教育課題を検討して判断すべきとしており、現時点で統廃合を行うのは時期尚早である。
- 学校は地域のコミュニティとして非常に重要な拠点施設であるため、維持するべきである。学校の空き教室を集会所として利用する等の工夫をすることで、学校を維持できる。
- 学校給食は、給食設備の老朽化や児童数減少を考えると、センター式にした方がスケールメリットもあり、また、食の安全管理もしやすい。
- 食育や塩竈市の食の豊かさを考えると、自校式給食の方が良い。センター式にするのなら、地元の食材を使用する等の対策が必要である。
- 塩竈モデルを作る上で、前向きな意見を多く取り入れ、魅力あるものを作る必要がある。
- 民間が行う公共サービス等、民間と協力することが必要である。
- 24%という目標数値は変えずに、住民の方々に理解してもらうよう、前向きなプランにするということを示すことが重要である。



（３）第３回有識者審議会

- 学校が地域のコミュニティの中心的な役割を持つことを考えると、多機能化・高機能化を更に進めてほしい。
- 「子育てしやすいまちづくり」ということを考えてほしい。
- 異なる立場、異なる年代の人同士で議論することで、お互いが触発されて、新たなアイデアが生まれる。そういった場を設けることも計画を進める上で有効である。
- 各集会所の置かれている状況を個別に考え、新しいスペースの活用方法や、機能を考える必要がある。
- 塩竈市は東北地方で最も人口密度が高く、既にコンパクトシティであり、大きな強みである。
- 塩竈の魅力的な部分を余すところなく利用して、塩竈モデルを作成し、多くの人に住みたいと思ってもらうように、前向きに取り組むことが重要である。
- 定住人口の増加に向けて、教育に対する魅力を外部に対して発信し、子育て世代を増やすことを塩竈モデルでも考慮すべきである。
- 塩竈モデルの土台となる話し合いのプラットフォームをどう置くかということが重要である。
- 公共施設は元々採算が取れないが、魅力があれば他で採算が取れ、結果として、全体経済として利益となる。
- 塩竈モデルとして、市民が郷土の歴史や文化を大切にし、公共施設の維持・管理に対して、市民の参加を促進させる内容を盛り込むと良い。
- 学校給食に関しては、食のまちとして、地元の食材（魚介類）を食べることで、教育や文化だけでなく、人材育成にも繋がり、まちの活性化や魅力にも繋がる。



（４）第４回有識者審議会

- 教育の変化も考慮しつつ、個々の状況を勘案して、計画を策定してほしい。
- 防災面の強化も含め、地域と共存できる学校にしてほしい。
- 一市民として、会合に参加がしにくくなっているため、より市民が参加しやすいように受け皿の整備をする必要がある。
- 集会所と学校については置かれている状況が様々であるため、個々の状況を把握し、柔軟な対応が必要である。
- 公衆トイレは観光面でも重要なインフラであるため、防犯面等の整備を行い、安全に利用できることを発信する必要がある。
- 給食センター方式を目指す場合は、食育や塩竈の食文化の伝承を担保してほしい。
- 外国人実習生等の日本国籍以外の住民のことも考慮し、積極的にコミュニティに取り込んでいく必要がある。
- 地域の特色を生かしたり、連携することで魅力を高められる。
- 省エネルギーへの配慮、メンテナンスフリーの素材や設備導入によりコスト削減に繋がる。
- 市民の方々がアイデアや提言について話し合う場となる、共創プラットフォームを構築することが重要である。



（５）第５回有識者審議会（答申）

- 市として今回の再配置計画は、市民の方々に受け止めてもらえるかが重要であり、ネガティブな受け止め方でなく、持続可能なまちづくりに真正面から取り組むべきだと理解している。
- 有識者審議会では、１点目は少子高齢化による財政状況の悪化、２点目は公共施設の空きスペースの増加により、統合・廃止・譲渡といった手法の検討の必要性、３点目は施設の多機能化等による活用について議論をしてきた。
- 食材の地産地消や社会福祉等の観点で地元と WinWin の関係を築き、良い循環を作り出すために、塩竈らしさを意識しながら計画を進めてほしい。
- 塩竈モデルの基盤となっているのは食文化であり、また塩竈には昔から経済や商業を学んでいくという生活特性が根付いている。そういった特性をつなげていくことでコミュニティが維持される。
- 市民と行政が並行して意見を出していくことが大切である。
- ２４％という縮減目標を達成するだけでなく、新しいコミュニケーションが生まれるような連動性を持った仕組みづくりが大切である。
- 公共施設の周知が足りないことが、行政としては反省するべき点である。



■答申書

平成31年2月4日

塩竈市長 佐藤 昭 様

塩竈市公共施設再配置計画審議会
会長 柳井 雅也

塩竈市公共施設再配置計画について（答申）

平成30年8月7日付け財第153号により、本審議会へ諮問された塩竈市公共施設再配置計画について、塩竈市公共施設再配置計画審議会設置条例（平成30年6月26日条例第25号）第2条に基づき、慎重に審議を重ねてまいりました。その結果を下記のとおり答申します。

記

1. 「塩竈市公共施設再配置計画」（案）について

別添のとおりです。

2. 審議経緯について

当審議会は、これまで4回にわたり審議を重ねてまいりました。この間、市の施設評価を踏まえた素案の内容について、町内会や施設利用団体との意見交換会、高校生とのワークショップなどの意見を踏まえ、今後の目指すべき公共施設マネジメントの方向性を議論してまいりました。

3. 新たな公共施設の取組（塩竈モデル）について

公共施設の再配置に当たっては、限られた市域に都市機能が集積し、公共交通が充実しているコンパクトな市街地特性を生かしながら、定住人口の増加に向けた魅力あるまちの形成に向けて、新たな公共施設の取組となる「塩竈モデル」を定めました。

五つの柱として「市民等との情報共有・相互理解の醸成」、「市民参加による施設の維持管理・運営」、「民間活力の活用や他分野との連携」、「公共施設の収益力の向上」、「公共施設の有効活用の工夫」を掲げており、異なる施設間や多世代での話し合いの場（しおがま共創プラットフォーム）をとおして、市民・事業者・行政が連携する新たな公共施設マネジメントが創出される事を期待しております。

4. 学校給食について（附帯意見）

塩竈市は豊富な水産資源を抱える食のまちであり、児童生徒が地元の食材を食べることで、教育や文化の発展だけではなく、人材育成やまちの活性化に繋がっていきます。このように学校給食については非常に重要性が高いと考えられますことから、給食センター方式を含め、塩竈の特性を生かした様々な方式について改めて検討していただきますよう附帯意見として申し添えます。

2 町内会説明会

■開催概要

〈次第〉

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 説明会

(1) 『公共施設再配置計画(素案)』の概要について

(2) 質疑応答

4. 閉 会

対象地区	回数	参加人数	開催日時	会場
南部地区	第1回	20名	平成30年 8月20日(月) 14:00～15:00	東玉川公民館図書室
	第2回	14名	平成31年 2月7日(木) 16:00～17:20	
東部地区	第1回	14名	平成30年 8月20日(月) 18:30～20:00	東玉川公民館第1会議室
	第2回	14名	平成31年 2月7日(木) 18:00～19:35	
北部地区	第1回	27名	平成30年 8月21日(火) 14:00～15:00	松陽台集会所
	第2回	30名	平成31年 2月8日(金) 14:00～15:30	
西部地区	第1回	18名	平成30年 8月21日(火) 18:30～20:00	東玉川公民館図書室
	第2回	18名	平成31年 2月8日(金) 18:00～19:30	
浦戸 各地区	第1回	3名	平成30年 8月27日(月) 14:30～15:30	浦戸諸島開発総合センター 第8会議室(図書室)
	第2回	5名	平成31年 2月13日(水) 14:00～15:00	

■説明会の結果

（１）南部地区

＜第１回＞

- 図書館をより魅力的なものにしてほしい。駐車場も小さく、無料の駐車場もない。利用時間ももっと長くしてほしい。
- 公園をもっと増やしてほしい。
- 市庁舎の老朽化と機能が分散しているため、対策をしてほしい。
- 年少人口の減少対策として、子育て支援施設の拡充を行ってほしい。



＜第２回＞

- 民間に譲渡した場合に、利益と機能の両立ができるかどうか気がかりである。
- ランニングコストの削減は年に 1～2 億円であり、削減効果は少ないように思える。
- 財政面のみを考えて計画を立てているように見える。
- 先送りになったり、意見がまとまらない事態を避けるために、短期間で進めたほうが良い。



（２）東部地区

＜第１回＞

- 学校数が多いため、一部解体ではなく、統廃合を進めるべきである。
- 観光や港湾等、産業と関係ある施設に資金を回し、活性化させるべきである。
- 計画の期間が 30 年というのは長すぎる。



＜第２回＞

- 統廃合ではなく、廃止等の強い方針を打ち出すべきである。
- 観光への注力や子育て支援の充実等の魅力づくりを行い、人口を増加させるべきである。
- 集会所の維持が難しいため、町内会と集会所の譲渡についてより検討するべきである。
- 全体的に利便性を上げる必要がある。また、情報発信や PR もより行うべきである。



(3) 北部地区

<第1回>

- トイレが少なく、不便である。観光の面でもトイレは必要である。
- 観光振興の一環で、wi-fi 設備を充実させるとのことだが、不足している。
- 集会所を譲渡されても町内会で維持・管理を行うのは大変である。



<第2回>

- 産業振興による税収の増加等をするべきである。
- 公園の廃止や大規模な宅地開発等のより抜本的な施策を行うべきである。
- 町内会に対して、負担をかけすぎているように思う。負担をかけず、身の丈に合った計画にしてほしい。
- 他市町村と連携することも考慮するべきである。



(4) 西部地区

<第1回>

- 集会所を譲渡された際に、町内会で全て維持・管理を行うのは不安が残る。
- 学校の統廃合と市営住宅の解体は、優先的に進めるべきである。
- 市立病院も計画に入れて考慮すべきである。



<第2回>

- 集会所を譲渡された場合、市の方でも補助等の介入をしてほしい。
- 人口のバランスを考慮して、集会所の方針を決定してほしい。
- 集会所でなく、補助を多く出している施設を削減する方が良い。
- 譲渡された場合、市民や民間の負担が大きくなり、維持できないと思う。



(5) 浦戸地区

<第1回>

- 集会施設は災害公営住宅の建設に伴い新設されているため、現段階では大きく修繕費がかからないが、人口減少や高齢化が著しい中で、維持していくのは不安である。
- 集会施設の維持に限らず、人口減少が最大の課題である。

<第2回>

- 体育館は有事の際に避難所として活用されるため、維持を検討してほしい。
- 寒風沢の消防団器具置場を島の中心部の施設に複合した方が良い。
- 浦戸の観光を推進するのであれば公衆トイレは必要である。



3 施設利用団体への説明会

■開催概要

〈次第〉

1. 開 会
2. 挨拶
3. 説明会
 - (1) 『公共施設再配置計画(素案)』の概要について
 - (2) 質疑応答
4. 閉 会

対象施設	施設利用団体等	参加人数	開催日時	会場
市民交流センター (遊ホール)	塩釜市芸術文化協会 塩竈夢ミュージカル THE 塩竈 SOUND PORT 実行委員会 塩釜甚句保存会 ABCチャットクラブ	8 名	平成30年 10月4日(木) 16:00～17:00	図書館 4 階 視聴覚室
塩竈市民図書館	おはなし びっくり箱			
しおがま子育て 支援センター 「こころん」	一般参加者	7 名	平成30年 10月5日(金) 10:30～11:00	壺番館 1 階 「こころん」
桜ヶ丘老人 憩いの家	なごみの会 ことぶきの会 さくらの会 桜ヶ丘共栄会	6 名	平成30年 10月5日(金) 15:00～16:30	桜ヶ丘老人 憩いの家
清水沢市営住宅	住民	35 名	平成30年 11月4日(日) 10:00～11:00	清水沢市営住宅 集会所
各小学校・中学校	各学校 PTA 会長・役員	17 名	平成30年 11月4日(日) 18:30～20:00	公民館 2 階 第一会議室
北部地区行政懇談会	町内会会長	30 名	平成30年 11月17日(土) 13:30～14:45	松陽台集会所
市営住宅監理補助員	市営住宅監理補助員	5 名	平成30年 11月19日(月) 14:00～15:30	公民館図書室

■説明会の結果

（１）市民交流センター（遊ホール）・塩竈市立図書館

- 駐車場の数、駐車できる台数が少ない。
- バス等の公共交通機関を充実させ、施設の利便性を向上させてほしい。
- 統合や複合の場合、設備、サービスの水準を維持、向上をしてほしい。



（２）しおがま子育て支援センター「こころん」

- 公園の数を増やしたり、設備の質を向上させてほしい。
- 小学校の空き教室を、他の施設と複合することが考えられる。
- 保育園が遠い所にあるため、駅の近くに作ったり、バス等の公共交通機関を充実させてほしい。



（３）桜ヶ丘老人憩いの家

- 使用料も安く、部屋も広いため利用しやすい。週一回の活動を楽しみしている人も多い。解体されたら、楽しみがなくなってしまう。
- 老朽化で解体は仕方ないが、解体する場合は市営桜ヶ丘住宅と同じ時期に解体してほしい。



（４）清水沢市営住宅

- 解体に伴う引っ越しや、移り住んだ先での生活に不安がある。
- 他の住宅に移る場合、家賃等の問題があり、不安に思う人もいる。
- 移転先やどのくらいの人数が入居可能なのかが気になる。



（５）各小学校・中学校

- 学校が多く、統合するべきだという意見が多いが、学校が多いというイメージはなく、統合されると、通学等に支障がでる。
- 自校式給食からセンター式給食に変えると、コスト削減等のメリットもあるが、給食への感謝の気持ち、給食で問題が起きた際に１校だけでなく、全体に広がる、給食費の未払い問題等もある。
- 子どもたちの教育環境を考えて、計画を進めてほしい。



（６）北部地区行政懇談会

- 建物が老朽化していたり、地盤沈下などで立地が危険な集会所を譲渡されても困る。
- 集会所ごとではなく、より大きな地域単位で利用価値の有無や修理の必要性を考えるべきである。
- 塩竈市の財政が厳しいのは分かるが、それを踏まえて、再配置計画をまちづくりに活かしたり、収益方法を探るなどの前向きな考えが必要である。

（７）市営住宅監理補助員

- 100円バスを含めて、公共交通機関の利便性を向上させてほしい。
- 財政圧迫を避けるため、維持管理に重点を置いて計画を進めるべきである。
- 若い人を対象に意見を聞くべきである。



4 施設利用団体による意見交換会

■開催概要

＜次第＞

1. 開 会
2. 挨拶
3. 意見交換会
 - (1) 『公共施設再配置計画(素案)』の概要について
 - (2) 意見交換（ワークショップ）
4. 閉 会

分類	対象施設 施設名	出席団体 団体名	開催日時	会場
スポーツ・レクリエーション系	塩竈市体育館	塩竈市体育協会	平成30年 10月15日(月) 18:30～20:20	体育館 第1,2 研修室
		塩竈市バレーボール協会		
		塩竈市バドミントン協会		
		塩竈市バスケットボール協会		
	塩竈市温水プール	リンリン水泳愛好会		
		ぐっぴいキッズ		
		塩竈水泳協会		
市民文化系・社会教育系①	ふれあいエスパ塩竈	退職女性校長会(梅の実会)	平成30年 10月16日(火) 18:30～20:10	公民館 視聴覚室
		シオーモ絵本のなかまたち		
		781 Blues Band		
	塩竈市公民館	いしぶみ愛好会		
		カントリーダンスポニーエクスプレス		
		塩竈市俳句会		
		塩竈書道同好会		
市民文化系・社会教育系②	市民交流センター (遊ホール)	ABCチャットクラブ	平成30年 10月17日(水) 17:00～18:30	図書館 4階 視聴覚室
		塩竈市芸術文化協会		
		塩竈夢ミュージカル		
		塩竈甚句保存会		
	塩竈市民図書館	おはなし びっくり箱		

■意見交換会の結果

(1) 塩竈市体育館

- 体育館の規模が大きく、設備の質も良く、利用しやすい。
- 時間帯等の利用形態と床や備品等の施設の改善が必要である。
- 学校を統合し、スポーツ施設を維持するべきである。塩竈市は施設がバラバラに立地しているので、集約化する必要がある。
- 大きな大会の誘致、企業の運動会や展示会等の多目的利用により、収益を上げることで維持費用をまかなうことが考えられる。



（２）塩竈市温水プール

- プール自体は水温も適温で、泳ぎやすい。
- スタッフの対応も良く、清掃も行き届いており、利用しやすい。
- シャワー室がつまりやすい。
- 施設自体の評判は非常に良いので、良い評判は維持しつつ、民間譲渡によるサービスの向上を図ることが考えられる。



（３）ふれあいエスプ塩竈

- 利便性もよく、気軽に利用できる。
- スタジオや機材の老朽化が目立つ。
- 利用時間を改善してほしい。
- 公民館との統合で部屋や駐車場の不足が懸念される。
- 徒歩や公共交通機関の利用による駐車場対策、料金の値上げや、市民ボランティアによる維持管理等を行うことが考えられる。



（４）塩竈市公民館

- 部屋が要望通りに取れやすく、無料で利用できる等利用しやすい。また、立地が良い。
- 公民館は老朽化しているため、統廃合については理解するが、本町公民館やエスプでは、公民館の利用団体を追加すると、施設規模が足りないのではという不安がある。
- 公民館の統廃合に当たっては、集会所や学校の空き教室等を活用した柔軟な公共施設の使い方を考え、公共交通の利便性の高い所で代替施設を確保できるようにすることが考えられる。
- 公民館のつながりは今後も維持することが望ましい。



（５）市民交流センター（遊ホール）・塩竈市民図書館

- スタッフの対応の良さや施設の広さに加えて、料金等の面で利用しやすい。
- 駐車場が少なく、無料利用の時間も短い。
- 開館時間が遅く、閉館時間が早い。
- 市民が利用しやすさを知らず、施設の周知不足を感じる。
- 再開発や遊休地の活用や公共交通との連携により、駐車場の不足に対応することが考えられる。
- 施設の周知やPRとともに、図書館と遊ホールはもとより他団体との連携を図ることが考えられる。



5 高校生との意見交換会

■開催概要

開催日時	出席者数	主な内容
平成 30 年 11 月 22 日(木) 13:30～16:30	11 名	・市内の主な公共施設見学、ワークショップなど

<次第>

1. 開 会
2. 公共施設見学
3. 公共施設再配置計画（素案）説明
4. ワークショップ
テーマ（１）塩竈市にあるとよい施設、欲しい施設
（２）塩竈市の未来の施設
5. 閉 会

<施設見学>

参加者が市内の主な公共施設として、社会教育施設である公民館、ふれあいエスプ塩竈及びスポーツ施設として体育館、温水プール、新たな産業施設として塩竈市魚市場の見学を行った。



ふれあいエスプ塩竈



温水プール



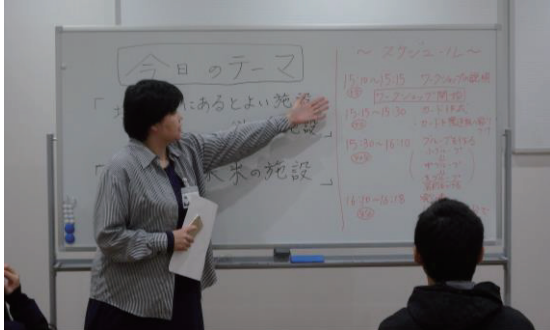
魚市場（おさかなミュージアム）



魚市場（おさかなミュージアム）

<ワークショップ>

施設見学後、公共施設再配置計画に関するVTRを見た後で、生徒たちが2グループに分かれファシリテーターの指導のもと、『塩竈市の良い施設、欲しい施設』、『塩竈市の未来の施設』をテーマにワークショップを行い、内容を市長に発表しました。



ファシリテーターによる説明



必要な施設・欲しい施設を議論



グループごとに発表



全員での記念撮影

<1グループの成果>

- 体を動かせる施設（スタジアム、公園、体育館、大きめの鏡のある運動施設など）
- 支援施設（外国人向け施設、子育て支援施設、勉強支援施設、障害のある人が勉強できる施設）
- 集客施設（インスタ映え、ライトアップ、大型商業施設、ホテル、プラネタリウム、ディズニー、水族館、観覧車、遊園地、ドーム、バッティングセンター、スポッチャ、ボウリング場）
- 地産地消（塩釜の特産物を使った、見学できる工場）
- 医療・福祉（老人ホーム、高齢者が集まる場所、総合病院、保育所、幼稚園、一時預り場所）
- 交通系（西塩釜駅にエレベーター、駐車場、市営バス増便、自転車専用道路、フラットな道）
- その他（アップルストア、K-POPの店、ロフト、ドンキ、スイパラ）

<2グループの成果>

- 勉強施設（小・中・高が学びを共有できる施設、芸術（絵画・音楽）をメインとした施設、学生限定の学習スペース、図書館（多賀城図書館に負けない施設））
- 運動・遊び（公園、スポーツジム、ライブ施設、テーマパーク、ずっと溜まれる施設、カップル限定スペース、ボウリング場）
- 少子高齢化対策（老人ホームと育児施設の複合施設、あらゆる世代が交流できる場所・イベント）
- 交通機関（各施設に停車するバス、もっと軽い気持ちで乗れる船、自転車（乗り物）を借りられる施設、4つの駅をきれいにする）
- その他（小中一貫校（浦戸以外）、自動車教習所、砂浜、坂が多いので階段等にスロープ設置）

6 パブリックコメントの実施

■実施結果

内容		塩竈市公共施設再配置計画（素案）について
提出期間		平成30年8月8日から平成30年8月28日正午まで
意見等の提出方法		持参（塩竈市役所本庁舎1階情報公開コーナー）、 郵送、ファックス、e-mail
案・関連資料の 入手方法		ホームページ、情報公開コーナー、図書館、公民館、 ふれあいエスパ塩竈、塩釜ガス体育館、保健センター、 浦戸諸島開発総合センター
意見等の件数		意見件数：4件
No.	意見の内容(概要)	市の考え方(概要)
1	定量的評価の「配点」「重付係数」「評価点」について、どのような数値をベースに付けたのか。	公共施設マネジメントの先進事例等を参考にし、市内部の策定委員会において、決定しました。
2	「維持更新費の削減」を目的としているが、検討の指標が「延床面積ベース」となっているのは何故か。	歳入・歳出シミュレーションを行い、維持更新にかかる不足額を解消するためには、施設総量として24%の削減が必要であると延床面積ベースに置き換え、目標としています。
3	目標設定について、24%削減という目標が適正なのか。	シミュレーションの前提条件については、総務省が推奨する一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）が示した施設分類ごとの㎡単価を採用しており、一定の根拠のある数値を基に目標を設定しています。なお、社会情勢の変化等により、総合管理計画・再配置計画ともに進捗状況や計画そのものを見直し・更新していくものとしています。
4	資料の作成過程にデータ解析の専門家が関わっているか。	データ整理・解析には委託コンサルと契約し、データをまとめています。

内容		塩竈市公共施設再配置計画（中間案）について
提出期間		平成 31 年 2 月 7 日から平成 31 年 2 月 27 日正午まで
意見等の提出方法		持参（塩竈市役所本庁舎 1 階情報公開コーナー）、 郵送、ファックス、e-mail
案・関連資料の 入手方法		ホームページ、情報公開コーナー、図書館、公民館、 ふれあいエスプ塩竈、塩釜ガス体育館、保健センター、 浦戸諸島開発総合センター
意見等の件数		意見件数：3 件
No.	意見の内容(概要)	市の考え方(概要)
1	減収対策や 30 年間の市の総合計画が提起されない中で議論をするのは無理があるのではないか。	減収対策については、今後も税金を含め市として様々な財源対策を検討する必要があると考えています。また、市の最上位計画である長期総合計画との整合性をはかりながら再配置の推進に向けての取組を進めていきます。
2	税金増加策として地方税の増額を国・県に強く要求する必要がある。また、塩竈の基幹産業である水産加工業の振興を図り、地元雇用の確保や若年層の定着を推進する必要がある。そのためにも「総合政策」が必要であり、その中で「公共施設問題」を議論することが必要である。	例年、国に対して地方財源の確保を目的として、地方交付税の増額や地方税の充実等についての要望を行っていますが、引き続き県を通して要望を行っていきます。水産加工業については、今後も活性化策を検討し、地元雇用の確保につなげていきたいと考えています。また、公共施設マネジメントを進める上でも定住促進を図る取組も検討していきます。
3	集会所について、「譲渡」という再配置案が示されているが、利用者が激減しており、修繕だけでなく施設の維持管理すらできない状況であるため、集会所の「譲渡」は反対である。	計画における再配置案は、現段階における「たたき台」であり、具体的な譲渡の方法や時期、補助制度等については、各町内会の状況を踏まえながら、個別施設計画を策定していく中で、最終案を決定していきます。

7 塩竈市公共施設等総合管理計画等策定委員会

■委員

所属・役職	氏名	備考
副市長	内形 繁夫	
市民総務部長	小山 浩幸	
健康福祉部長	阿部 徳和	
産業環境部長	佐藤 俊幸	
建設部長	佐藤 達也	
市立病院事務部長	荒井 敏明	
水道部長	大友 伸一	
教育部長	阿部 光浩	
市民総務部総務課長	川村 淳	
市民総務部政策課長	相澤 和広	
市民総務部財政課長	末永 量太	

■開催経緯

回数	開催日時	主な内容
第1回	平成30年7月26日(木) 10:30～11:00	・塩竈市公共施設再配置計画(素案)の概要について ・今後のスケジュールについて
第2回	平成30年10月24日(水) 9:00～10:10	・第1回有識者審議会の主な意見と対応 ・町内会説明会の開催結果 ・施設利用団体による意見交換会の開催結果
第3回	平成30年11月30日(金) 9:00～10:15	・施設利用団体への説明会の開催結果 ・『塩竈市公共施設再配置計画』修正案についての報告 ・今後のスケジュールについて
第4回	平成31年1月23日(水) 13:30～14:50	・『塩竈市公共施設再配置計画』修正案について ・今後のスケジュールについて
第5回	平成31年2月5日(火) ※各委員に持ち回り	・答申内容の確認について ・今後のスケジュールについて
第6回	平成31年3月13日(水) 13:30～15:00	・『塩竈市公共施設再配置計画』最終案について ・アクションプランの内容について

8 施設担当者説明会

■担当課職員

所属課	氏名	備考
市民総務部	総務課 伊藤 勲	
	財政課 千葉 貴幸	
	市民安全課 小林 史人 石垣 聡 中村 成子	
教育部	教育委員会総務課 扇谷 剛四	
	生涯学習課 岩舘 恵子 佐藤 涼子 大山 貴之	
	市民交流センター 柴田 奈津子	
健康福祉部	生活福祉課 伊藤 祐一	
	子育て支援課 津島 康子 鈴木 和賀子	
	長寿社会課 渡辺 有保	
	健康推進課 大森 弘靖	
産業環境部	水産振興課 渡辺 敏弘	
	商工港湾課 川口 正隆	
	観光交流課 阿部 真典	
	環境課 島津 和洋	
	浦戸振興課 文屋 一郎	
建設部	定住促進課 阿部 経憲	
	土木課 鈴木 修 尾形 真宏	

■開催経緯

回数	開催日時	主な内容
第1回	平成30年9月3日(月) 15:00～16:00	・公共施設再配置計画(素案)の概要について ・今後の取り組みについて ・施設利用団体との意見交換会について
第2回	平成30年11月9日(金) 13:00～14:45	・各種会議の意見反映について ・アクションプランの作成について ・今後のスケジュールについて
第3回	平成31年3月8日(金) 9:00～9:30	・アクションプランの内容について